



2025年 6月18日
第203号

JR 東労組 Yokohama



JR東労組横浜地本

発行人 梶田 優一
編集 情宣 担当
ホームページ



<http://www.jreu-yokohama1.jp/>

横地申
第16号

「南武線における集約臨時列車」を担当する兼務社員に対し、 丁寧な教育の実施と安心して乗務できる環境を求める申し入れ 団体交渉を行う②



2. 南武線ワンマン運転に伴い、車掌指導担当と車掌指導副長および車掌教育副長もすでに転出しており、車掌担務者に対する教育者が不在である。このような状況で、今回兼務発令された車掌担務者に対し、誰がどのように教育・訓練を実施するのか。教育・訓練に対する考え方を示すこと。また、駅側の教育についてもどのように行うのか明らかにすること。

【会社回答】必要な教育・訓練は実施していく。

組 合

会 社

集約臨に乗務する車掌担務者への教育・訓練のあり方について示すこと。

ワンマン運転が決定した時から、車掌指導から運転指導へ技術継承を進めてきた。ワンマン運転において、車掌に関する業務を運転士が行うので、技術継承を行ってきた。

そうすると、車掌関係の教育については運転指導が行うということか。

集約臨については運転指導が教育を行う。車掌の基本的な業務に関する教育については、兼務元の区所で行っている。

これから乗務するにあたり、全駅にホームドアが設置された状態で、E257系でドア締切扱いなどを行わないといけな。今までは全ドア開扉でやったことのない取り扱い。いきなりできる自信は無い。変更点などのレクチャーは必ず行うのか。

フォロー含めて行う。不安があれば南武線オフィスでお伝えいただくなど、コミュニケーションをとっていただきたい。

初回の乗務で必ずフォロー添乗に来ていただけるのか。

不安があれば申告・相談していただきたい。その時の職場の体制もあるが、申告していただきたい。

必要な資料を前もって送付していただきたかった。資料はあるのか。

資料はシェアポイントに入っていると聞いている。南武線オフィスに伝えていく。

箱ダイヤと乗務カバンは用意されていると聞か、具体的な持ち物などについて知らされていない。

南武線オフィスに伝えていく。

副長も集約臨に乗務していると回答があったが、どのように教育を受けているのか疑問があった。先ほどの回答からすると、副長に対する教育も運転指導が行っているということか。

運転指導が必要な教育を行っている。実際に、集約臨の運行時はフォロー添乗を行いながら見ている。車掌用のシミュレーターも残っているので、教育に活用している。

南武線オフィスで乗務前に1時間程度の事前教育を行うと聞いたが、この経緯と問題意識を示すこと。

ホームドアが全駅導入されて取り扱いが変わるため、不安があるだろうと思い、その取り扱いについてしっかり教育・フォローできる体制ということで、乗務前に1時間程度の教育の場を設けた。確認！

確認する。

秋口に運行される場合も、再度教育を行うということか。

コミュニケーションをとりながら、不安があればフォローさせていただく。まだ正式に運行が決まっていないが、重要なのは不安なく乗務していただきたいので、必要があれば教育を行っていく考えに変わりはない。確認！

確認する。

将来展望について、今後も兼務は続けるのか。

集約臨の列車設定にもよるので一概には言えない。その時の状況によって判断していく。

兼務元の乗務もあり、どこの職場も慢性的に要員不足であるので、私の職場でも休日出勤が頻繁にある中で、ずっと兼務でよいのかという問題意識がある。南武線オフィス内でも集約臨に乗務できる乗務員を養成していくべきだという問題意識がある。

南武線オフィスとコミュニケーションをとりながら進めるが、集約臨に乗務できる方を増やしていきたいという思いはある。今回は初年度ということもあるので、1年間の実績を見ていく。

駅側の取り扱いは変わるのか。

モビサ駅指導から関係する駅へ資料を持って事前に教育している。ホームドアが整備される時に事前に教育を行っていて、年1回のホームドア訓練も実施している。確認！

確認する。集約臨に車掌として乗務できる方は運転指導のみなのか。

運転指導、当務、副長が集約臨に乗務できる。

次号③へ続く